

2015年2月20日

<報道各位>

株式会社ジェーシービー

JCB、「クレジットカードに関する総合調査」2014年度の調査結果を発表

株式会社ジェーシービー(本社:東京都港区、代表取締役兼執行役員社長:浜川 一郎、以下:JCB)は、全国の一般消費者を対象に、クレジットカードの保有および利用の実態について調査した「クレジットカードに関する総合調査」の2014年度の結果について発表いたします。

本調査は、JCB が2000年以降毎年、日本全国の一般消費者3,500人(20代から60代の男女。JCBカードの保有有無は不問)に対して、インターネットにより行っているものです。

<2014年度版調査結果の概要>

1. ポイント・マイルごとに使い分け?最も多いのはクレジットカード「3枚持ち」。

クレジットカード保有者一人あたりの保有枚数は、3枚が23.1%、2枚が22.0%、1枚が21.1%で、「3枚持ち」が最も多い結果となりました。1番多く使うクレジットカードの利用理由は「ポイントやマイルが貯めやすいから(53.9%)」が1位、2番目に多く使うカードでも同理由が33.3%と2位を占めていることから、ポイントが貯めやすいカードを複数枚所持し、決済シーンごとに使い分けしていると言えそうです。

なお、1番多く使うクレジットカードの利用理由の2位(53.2%)、2番目に多く使うクレジットカードの理由1位(44.0%)が「入会金・年会費が他社と比較して安いから(無料含む)」でした。

2. 生活費に占めるクレジットカードの利用割合が30%を超過。

2014年度の世帯あたりの月平均生活費は18.7万円で、2013年度と比較して1千円減少した一方で、月平均クレジットカード利用額は昨年比4千円増の5.9万円となり、30.7%でした。

クレジットカードを利用する業種としては、「オンラインショッピング(インターネット通販)」「携帯電話料金」「スーパーマーケット」「プロバイダー料金」「電気料金」「ガソリンスタンド」などが上位で、公共料金や保険料といった毎月発生する支払いでのカード利用は年々増加しています。一方で「コンビニエンスストア」も年々増加しており、生活の様々な場面でクレジットカード決済が浸透してきていると言えます。

3. 電子マネーの保有率が80%近くに。

電子マネーの保有率は79.3%となり、2011年度の66.7%、2012年度の70.4%、2013年度の72.3%から順調に拡大しています。中でも首都圏においては、保有率が88.7%と9割近くが電子マネーを保有している結果となりました。利用業種は、「鉄道・地下鉄・バス」が最多(46.3%)で、次に「コンビニエンスストア」(42.1%)、3位が「スーパーマーケット」(28.3%)となり、電子マネーは特にスムーズな決済が求められるシーンで浸透してきていることがうかがえます。

調査結果の詳細は、添付資料:「クレジットカードに関する総合調査 2014年度版 調査結果レポート」をご覧ください。

JCB企業情報サイト ニュースリリースページにて、本調査資料を公開しています。

URL: <http://www.jcbcorporate.com/news/index.html>

以上

<本件に関する報道関係者からのお問合せ先>
株式会社ジェーシービー 広報部 広報グループ
TEL:03-5778-8353